

部局名	安全環境部	所属名	クリーン推進課	所属長名	矢口 健二	電 話	483-1151 内線3220
-----	-------	-----	---------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3228		事務事業名称	廃棄物処理企画調整事業					短縮コード	経常	3228	臨時	3229
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 <その他施策体系>03030201ごみ減量化とリサイクルの推進 0303020103再資源化の推進 0303020104事業所ごみの適正処理 0303020201効率的な収集 0303020202排出マナーの向上 0303020301処理施設の適正管理 0303020302最終処分地の整備 0303020303焼却処理の整備 030302030 4 粗大ごみ処理施設の整備							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により一般廃棄物に係る計画の策定、収集, 運搬、処分を行う。市の固有事務となっている													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして						
当初は、ごみを集めて衛生的に処理することが適正処理であったが、現在は、ごみの発生防止、発生抑制を行いそれでも出たごみは、再使用あるいは再利用し、残るものを適正処理する循環型社会に変換して行くことが求められている。					大項目（節）	03	環境・衛生						
					中 項 目	02	ごみ処理						
					小項目（施策）	01	ごみの減量化・リサイクルの推進						
						02	環境に配慮した適正なごみ処理の推進						
					細 項 目	03	分別収集の徹底						
						03	震災時の廃棄物処理計画の策定						
				実施計画の計画事業	3306	震災廃棄物処理基本計画策定事業							
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成15年7月 ～ 平成25年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市民、事業者と一般廃棄物							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 廃棄物行政にかかる企画・調整を行った。 清掃センターの施設見学を実施した。							
	※平成21年度に計画していること： 廃棄物行政にかかる企画・調整を行う。 廃棄物減量等推進審議会の開催。							
意図 （何を狙っているのか）	一般廃棄物処理基本計画に位置付けされた施策を実施することで、基本計画で設定した挑戦目標達成を目指す。このことにより、市民、事業者、市がそれぞれの役割によりごみの発生防止や排出抑制、再使用、再生利用等に取り組むことになる。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 9 年 度	2 0 年 度		2 1 年 度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	人口（外国人登録含む）	人	188, 624	192, 000	191, 469	194, 000	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	ごみ排出量	t／年	62, 805	61, 670	59, 319	61, 251	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	1人1日当り平均ごみ排出量	g/人日	912	880	849	865	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3228	事務事業名称	廃棄物処理企画調整事業			所属名	クリーン推進課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			一般廃棄物処理基本計画の挑戦目標(市民1人1日当たりのごみ量820g(H24))を図るため、受益者負担の見直し、分別の徹底及び再分化、リサイクルセンターの整備等、ごみの減量化・リサイクルの推進に有効な施策を行っていかねばならない。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☒ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止(事業完了含む)							
☐ 休止							
☐ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			ごみ減量化・リサイクル推進を図るためには、コストの増加が見込まれるため。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☒	
			不 変	☐	☐	☐	
低 下	☐		☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
その他プラスチックの分別回収の要望。10リットル（小型袋）の指定ごみ袋の要望。リサイクルセンターの整備の要望。	

所属長コメント	一般廃棄物処理基本計画に沿って、更なるごみの減量化・リサイクルの推進を図る必要がある。今後ごみの減量化・リサイクルの推進に効果的な施策継続、または新規に実施していく。	
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，課題解決に努め可能なことは順次推進すべき。受益者負担については，引き続き慎重に検討を行うべき。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☒ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止(事業完了含む)		
☐ 休止		
☐ 現状のまま継続		